

作成：岩崎純一

寄「沁色」共感覚歌合（ひしきによせるきょうかんかくうたあわせ）

平成二十三年（2011）三月十九日に催された。

■歌題

「沁色」の心。すなはち、しみるいろを詠むべし。

■作者

袴ちの子

岩崎純一（[作者サイト](#)）

■歌

袴ちの子

月草の身に秋風の色沁みて花よりほかのおとなひもなし

（月草の花のような私の身に秋風の色が沁みて、この花のほかに訪れる恋人はいないので。）

岩崎純一

はかなしな夢見しのちは白露の身に沁む色の恋の限りは

（はかないことですね。夢の中であの人にお逢いしたのちは、いつ逢えるかも分からなくて涙を流す私の、身にしみるような色をした恋の終わりは。）